第803號　昭和23年12月24日　金曜日　晴　いわき民報　(1)　(第三種郵便物認可)

いわき民報

〒一八三
已
人
を
除く
一部一円五十銭
一カ月四十円
一カ月四円
平市印刷所
平市発行所
平市
編輯兼発行人　吉野　巳
発行所　いわき民報社

署長の責任追及

重視される平税務署の火の手

收賄等の汚職事件で起訴された平税務署間税課次席五十嵐勇治（三五）及び同署員優井晟、松本新一らの第一回公判を明後、十五日に控え去る十八日職場大會を開催した平稅務署勞組員の一部より同署長高橋昌訓氏（五四）に對する過記三名の汚職者をだした責任追及　盤が上り更に平市内二丁目某店を始め植田、江名等の業者の稅金問題や新規營造店許可にからみ同署長の行動にも疑惑の目が向けられ成行を重視されてる

平地區署も極秘に内偵

右については數日前から平地區署でも極秘に内偵を進めている模様で近日中には全署長の參考召喚は必至とみられている

私は潔白だ　高橋署長談

なお二十三日高橋稅務署長は次の樣に語っている

私は潔白だ、業者が私宅に押しかけて所得稅等につき懇談に來たこともない

北寄貝ハワイへ

四倉から罐詰として輸出

スープやコキール、フライ等あちらの人々の味覺をそゝる原料として戰前から海外に知られていた四倉町のホッキ貝の聲再び時代の脚光を浴びて華々しく登場、近く鄕土の誇りを秘めてアメリカは國の風香るハワイに船出することになった

製造に當つております、目下原料は双葉郡中村邊から送られるものですが、何分適期を過ぎているので量が少なく苦勞しました、今後も戰前にも增して良い品をつくるつもりです

つかう位ほか解りません、しかしわづか三十名程の工員ながら全員一致誠意をもって

先陣百箱二十四日に

殘る二百箱は明年解禁後に

このハワイからホッキ貝繼詰オーダーは東京都西本實易會社の仲介になるもので註文數量は一箱半封度繼九十六繼入三百箱、金額約一百四拾万円でその契約書によりその内百箱をあす二十四日までに横濱港まで發出することとなっているので目下全工場では連日製繼に作業多化を極めている、なお殘量二百箱は來年ホッキ貝の解禁となる七月以降に製造送ることとなっている

誠意をもち製造に

漁狩誠工場長談

全工場長猪狩誠氏は右につき次の樣に語っている

中味はうすく鹽味をつけボイルしたもので私見身、これがあちらでどんな料理に

中學は二校主義に

川前部落靑年代表も陳情

川前村川前部落の靑年團代表大川原力さんほか三名は二十一日石城地方廳務所敎育課をおとづれ〝一村一校ときめた村當局はあまりに〝新敎育性そのものに理解がない、なんとか川前部落にも中學校を設置するように努力願いたい〟と百二十名の署名を代表陳情に來たが同敎育課小林主事は留守中の渡邊課長に代って〝川前村としては一村二校が妥當と考える〟と同感、それ以上の問題には觸れなかった

村では十月六日の緊急村會で新制中學校は植賀地區に建築にきめたが、これに對し川前部落側等は通學不便を理由に小學校閒借二校主義を稱えてきているものである

四地區農委打合會

二十三日神谷村で

平、湯本、植田、三阪四地區農業委員が集まり農業技術の向上及に就て打合せるため二十三日午前十時から神谷村農事試驗場に開いた

赤井少年團夜警表彰式

赤井村少年團では二十六日午前十時から渡邊龍矢團長宅で警團夜警功勞者六十名の表彰なお殘額二百箱は來年ホッキ貝の解禁となる七月以降に製造送ることとなっている

Xマス禮拜

十字架書研究會

市内城山にある十字架敎會研究會では二十五日のXマスに讃美歌禮拜をマルトモホールに開く、時間は午前十時

横穴生活者入居はご免

北目會から反對

市内北目町の北目會々長大谷ほか二名は二十三日關係者に來たが同敎育課小林主事は留守中の渡邊課長に代って〝川前村としては一村二校が妥當と考える〟と同感、それ以上の問題には觸れなかった

連盟をのむ

誤鑛爭議は大詰の階段に至りヘプラー勤告に基く調停と說得三組合との交涉によって說勞中央本部では二十一日大會をひらき第四次連盟をのむことに決定二十二日午後勞組支部に通知あった

婦人民主クラブ運營委員會

先月下旬發足した婦人民主クラブ平支部の第一回運營委員會は二十五日午後一時から市内白鐵町佐治齒科醫院に開き、來年度綱領並に組織を稱えてきているものである

右について新聞村長は村財政のうえからも村會の決定案で進む樣志向しているもの、なお川前部落靑年團としては場合によっては連合靑年會を長吉田研究會では二十五日のXマスに讃美歌禮拜をマルトモホールに開く、時間は午前十時

日雇勞務者に加配

きのう濱三郡職安所打合せ

濱三郡下各公共職業安定所の係員を集め平公共職業安定所に日雇勞務者物資加配に關する打合會をひらいた、これは一月から安定所に登錄して同所の紹介で働いた者迄に同所で證勞を確認した（從方の場合）日雇勞務者には一日一合五勺の加配があり六ヶ月のうち百日以上稼動したものは衣料品地下タビの特配もあるのでこれが運營について協議したもの、なお平公共職業安定所では來月早々各事業者の參集をもとめ物資加配の說明會を開くが特に日雇勞務者を使用する事業家はなるべく早く報告すると共に同勞務者の登錄も年内中に濟せるよう呼掛けている

無豫告解雇

平勞基署團相調査に乘出す

平勞基署では四倉町しじみ川本田製粉工場經營者木田豐氏（三〇）を解雇傳告及び業務上傷害保險費用未拂で十五日出頭をもとめ事情を聽取することになった、同工場では自動車運轉手宮本三郎さん（二八）を去る十月十八日業務處理及び業務上怠慢の故をもって傳告なしに解雇、更に業務上傷害で全治一週間の休業中にも保險費用約三千円を支拂はなかったもの

入居者選定は明朗に

民生委員會も取上げて要望

引揚後援「愛の運動」に呼應する市主催引揚者平驛還留守宅家族をかこむ座談會は二十二日午後一時半より中隊保館に驛還者大町鈴木弘行君ほか六名、未驛還者家族鎌田町鈴木ミヨ子さんほか三名、大森木村第民生委員、石山引揚連盟支部長、佐川市社會課主任が參集して開き現下住宅情勢に引揚促進のためには兩隊下を動かして強力な國民運動を展開すべきであるとの結論になったので大森民生委員らもこの際に際し二十四日午後一時より課平管でなくあの場合は社會課で行うべき性質でないかと思うしその際は引揚連盟や民生委員など各種團にも參加させて實に困る市民に入居させるようにすべきであったと思う

と發言あり兩の引揚者團に關し來驛還留守宅家族で住宅に困る者があれば優先權を與えるべきであるとの結論になったので大森民生委員らもこの際に際し二十四日午後一時より

荷馬車が幼兒轢殺

小名濱町定西海產物商佐藤留也さん　男爾也ちゃん（三つ）は二十　日午後　時ごろ自宅前道路で遊戲中、同町大原荷馬車業箱橋輝二さん（二〇）の馬が驚き出し荷車に頭部を轢かれ間もなく死亡

小名濱の賭博

小名濱署では二十三日早朝全町定西無職杉本マサゴ（三九）方で花賭博開帳中に手入れをして泉村八内家魔鈴木辰夫（四五）ほか四名を現行犯で檢擧した

浮浪者列車に蹴ねらる

二十二日朝九時頃植田町石塚地内の常磐線線路で年齡六十五才位浮浪者風の男が上り列車に頭部をはねられて死んでいるのを通行人が發見植田署に屆出たが、幼き刈身長五尺一寸位、服裝者に黒防色ズボンコールテンの足袋を着用している

矢鄕鑛の團体交涉

矢鄕炭鑛の團体交涉は去る二十日行い二日分の配給米買入金を出すことを決めただけでもの別れとなり二十三日午後一時から再度團体交涉を開き越冬資金の他の件につき本格的交涉を行った

平地區蔬菜需給協議會

縣主催の平地區蔬菜指定特產地需給協議會は二十八日午前十時より市公會堂日本間に開き一月より三月までの第四四半期分の需給計畫について協議する

供米戰漸く本調子

小名濱等は年内に完遂か

郡下の供米は川前、四倉兩町を中からと午後六時からの二回村完遂と年末あってその後漸く本格的調子を示し、二十日現在でかき割七二%、湯本六八%、江名六七%、勿來六六%、三阪澤渡六四%と躍進郡平均も四〇%台となった、なお前記小名濱ほか三ケ町村は年内完遂を約束されているが郡としても明春　月二十日ころまでには完遂は確實と食糧事務所はみている

四地區農委打合會

二十三日神谷村で

平、湯本、植田、三阪四地區農業委員が集まり農業技術の向上及の農業委員會に就て打合せるため二十三日午前十時から神谷村農事試驗場に開いた

赤井少年團夜警表彰式

赤井村少年團では二十六日午前十時から渡邊龍矢團長宅で警團夜警功勞者六十名の表彰なお殘額二百箱は來年ホッキ貝の解禁となる七月以降に製造送ることとなっている

誠意をもち製造に

漁狩誠工場長談

全工場長猪狩誠氏は右につき次の樣に語っている

中味はうすく鹽味をつけボイルしたもので私見身、これがあちらでどんな料理に

中學は二校主義に

川前部落靑年代表も陳情

川前村川前部落の靑年團代表大川原力さんほか三名は二十一日石城地方廳務所敎育課をおとづれ〝一村一校ときめた村當局はあまりに〝新敎育性そのものに理解がない、なんとか川前部落にも中學校を設置するように努力願いたい〟と百二十名の署名を代表陳情に來たが同敎育課小林主事は留守中の渡邊課長に代って〝川前村としては一村二校が妥當と考える〟と同感、それ以上の問題には觸れなかった

村では十月六日の緊急村會で新制中學校は植賀地區に建築にきめたが、これに對し川前部落側等は通學不便を理由に小學校閒借二校主義を稱えてきているものである

婦人民主クラブ運營委員會

先月下旬發足した婦人民主クラブ平支部の第一回運營委員會は二十五日午後一時から市内白鐵町佐治齒科醫院に開き、來年度綱領並に組織を稱えてきているものである

右について新聞村長は村財政のうえからも村會の決定案で進む樣志向しているもの、なお川前部落靑年團としては場合によっては連合靑年會を長吉田研究會では二十五日のXマスに讃美歌禮拜をマルトモホールに開く、時間は午前十時

横穴生活者入居はご免

北目會から反對

市内北目町の北目會々長大谷ほか二名は二十三日關係者に來たが同敎育課小林主事は留守中の渡邊課長に代って

連盟をのむ

誤鑛爭議は大詰の階段に至りヘプラー勤告に基く調停と說得三組合との交涉によって說勞中央本部では二十一日大會をひらき第四次連盟をのむことに決定二十二日午後勞組支部に通知あった

日雇勞務者に加配

きのう濱三郡職安所打合せ

濱三郡下各公共職業安定所の係員を集め平公共職業安定所に日雇勞務者物資加配に關する打合會をひらいた、これは一月から安定所に登錄して同所の紹介で働いた者迄に同所で證勞を確認した（從方の場合）日雇勞務者には一日一合五勺の加配があり六ヶ月のうち百日以上稼動したものは衣料品地下タビの特配もあるのでこれが運營について協議したもの、なお平公共職業安定所では來月早々各事業者の參集をもとめ物資加配の說明會を開くが特に日雇勞務者を使用する事業家はなるべく早く報告すると共に同勞務者の登錄も年内中に濟せるよう呼掛けている

無豫告解雇

平勞基署團相調査に乘出す

平勞基署では四倉町しじみ川本田製粉工場經營者木田豐氏（三〇）を解雇傳告及び業務上傷害保險費用未拂で十五日出頭をもとめ事情を聽取することになった、同工場では自動車運轉手宮本三郎さん（二八）を去る十月十八日業務處理及び業務上怠慢の故をもって傳告なしに解雇、更に業務上傷害で全治一週間の休業中にも保險費用約三千円を支拂はなかったもの

入居者選定は明朗に

民生委員會も取上げて要望

引揚後援「愛の運動」に呼應する市主催引揚者平驛還留守宅家族をかこむ座談會は二十二日午後一時半より中隊保館に驛還者大町鈴木弘行君ほか六名、未驛還者家族鎌田町鈴木ミヨ子さんほか三名、大森木村第民生委員、石山引揚連盟支部長、佐川市社會課主任が參集して開き現下住宅情勢に引揚促進のためには兩隊下を動かして強力な國民運動を展開すべきであるとの結論になったので大森民生委員らもこの際に際し二十四日午後一時より

荷馬車が幼兒轢殺

小名濱町定西海產物商佐藤留也さん　男爾也ちゃん（三つ）は二十　日午後　時ごろ自宅前道路で遊戲中、同町大原荷馬車業箱橋輝二さん（二〇）の馬が驚き出し荷車に頭部を轢かれ間もなく死亡

小名濱の賭博

小名濱署では二十三日早朝全町定西無職杉本マサゴ（三九）方で花賭博開帳中に手入れをして泉村八内家魔鈴木辰夫（四五）ほか四名を現行犯で檢擧した

浮浪者列車に蹴ねらる

二十二日朝九時頃植田町石塚地内の常磐線線路で年齡六十五才位浮浪者風の男が上り列車に頭部をはねられて死んでいるのを通行人が發見植田署に屆出たが、幼き刈身長五尺一寸位、服裝者に黒防色ズボンコールテンの足袋を着用している

矢鄕鑛の團体交涉

矢鄕炭鑛の團体交涉は去る二十日行い二日分の配給米買入金を出すことを決めただけでもの別れとなり二十三日午後一時から再度團体交涉を開き越冬資金の他の件につき本格的交涉を行った

平地區蔬菜需給協議會

縣主催の平地區蔬菜指定特產地需給協議會は二十八日午前十時より市公會堂日本間に開き一月より三月までの第四四半期分の需給計畫について協議する

設計と建築

平建設興業株式會社

仲町六（電呼九〇六）

社長　金古　政通

營業　片寄傳右衛門

いわき寸言

常局に陳情しようと約し四時過き散會した

◆「望みなきに非ず」？

◆平和祭納會場大會でも火の手あがる、さてこの火災は景ものでゴザイ

◆三分の一は刑務所生活こうなると好んで入るとしかみえませんがナ？

待望のクリスマス迫る

クリスマスには是非麗く明るく設備の良いオリエンタルダンスホールへ

◇當日假面舞踏會日◇

24日　夜間　25日晝夜（2回）

ツーバンド　專屬オリエンタルハワイアンバンド　專屬タンゴバンド

平驛より東方へ徒歩にて約五分

平市宮町28番地　電話987

オリエンタルダンスホール

中古衣類

破格販賣

◇新春向新入荷豐富◇

御婚禮江戸褄モーニング

高級衣裳その他

中古衣類問屋　中央會館

お求めの際は是非一度御相談下さい

平市問町（平館隣り）電九七番

新鮮なハムとソーセージが入荷しました

皆樣の年末年始に是非御利用下さい

その他新鮮なる食料品も取揃えてございます

銀座通り　小西食品店

平市仲田町六九

内科
小兒科

三井醫院

三井五郎

電六一五

お知らせ

暫く疲勞を休んで居りましたが今般再び開店致しましたから宜しく御引立の程お願い致します

多少にても配達致します

牛豚肉

竹島肉店

平市大町電四五

クリスマスを迎えて

鎌倉　章

街の店かざりに、廣告に、また巷を考えてみたいと思う。たいろ〳〵な催しにクリスマスを祝うことが始ちてきた。こんなにみんなでクリスマスを祝うようになつたことは、ほんとうにうれしいことである。世界の各地では、またどんなに多く、どんなに盛んにこのお祝をなしていることだろう。けれども私達は、はたして眞實にこのクリスマスをお祝しているかどうか、この最くなつてくるのである。クリスマスはその十二月二十五日になつている。それから、ちようど七日おいて正月のお祝もある。

自然はこのように再びよみがえる。このために萬物の生命は眠と死から救はれるのである。このことだけでも私達にとつて心から歓喜がいつぱいになる。

クリスマスは皆が知つているようにイエスキリストの誕生をお祝するのである。誕生は私達の一家にとつても眞にうれしい出來事である。まして罪に滅びる我ら人類を救い、神の子となる機をあたへ給えうである。このユダヤの國のベツレヘムという町で、宿るところがなかつたので馬小屋をかりて、星のかがやいている夜半にイエスは誕生された。

地上のあらゆる人によろこびと平安をあたえ、世界の王の王として神の榮光を輝く〳〵あげられる救主の誕生はなんとかたじけないことではないだろうか。しかも短い公生涯をやがて十字架の上に終られたのである。人間を神に結ぶ唯一の道を開かれた、この問題に、勞働問題に、經濟問題に、そして政治に、この生命力を強めなければ世の暗さは增し掛わるばかりである。今日の日本に「弱の光、より臨み、暗黒と死の陰とに坐する者をてらし我らの足を平和の路に導かん」との言葉を成就させたい神を眞實に愛し相協力して社會を明るくするために最新の努力をしてこそ、世界の同胞と共に「天には榮え御神にあれや、地にはやすき人にあれや」と心からクリスマスを御祝いすることが出來る。

（筆者　松城敎會々員）

前に日の廻る裁判官局

年内起訴は一切舊法で處理

良い年でもあり悪い年でもあつた昭和二十三年はどんなにわめこうが泣こうが後退の聲しかないこの一週間も來る二十八日を以て御用納めとするお役所は今を限りと多忙の極にあるが殊に來春一旦元旦の初日の出と共に實施される『新刑事訴訟法』の複雑性或は犯罪檢擧公判技術等のむづかしさに備えてか大物は是が非でも『舊刑事訴訟法』の有効範圍内で有利に行うものとみられている裁判所檢察廳の忙しさはこれ又格別である『年内起訴の分は舊法に基き措置出來る』と言う指令により强引に起訴までこぎつけようとするためのもので、このすさまじき狀態を平地裁、平區檢察廳に以下のぞいてみる

ざつしり詰つた公判

御用納めまでに實に十八件

明春持越も目白押し

ときつしりと詰っている

裁判と檢察廳

二十五日以降二十八日までの公判期日の確定したものは合計十八件内譯は（二十五日）クリスマスも休まず金詐欺などで擧げられた久ノ濱の興行師甘粕俊嗣や收賄にからまる平稅務署間稅課次席五十嵐勇治、及び磯井毅の第一回公判を始め傷害、贓物牙保等七件計九件

二十六日　日曜日は志村裁判長以下各裁判官は福島に出張するべき新訴訟法や檢務官增員等打合せの「裁判官會議」に出席する

二十七日　大井川正巳藏議の第一回公判のほか刀名老爺殺し荒木利夫に對する判決言渡し及び傷害事件一件計三件

二十八日　御用納め當日だが小名濱西丸信郎傷害事件判決言渡しほか詐欺、窃盜等五件の計六件

料金も千圓突破

お蔭で電燈超過

それかあらぬか今月の電燈代は割當四十三キロをはるかに突破三倍強の百二十六キロ拂った金も規定料金五百二十三円のほか割增金なら抜超過料金は千四百十四円もとられている

所簡易裁判

件數定まる

前月より斷然多い

小物ながら數で他を壓するのが簡裁で今月二十三日までの公判に附した分を十一月中のそれと比較してみると（カッコ内十一月分）

刑事四十件（四十二）調停二十件（六）民事十三件（十三）合計七十四件（六十一件）となつており二十四日以降二十八日までの公判像定分八件を加えずとも師走に入つてからの公判確定分は十一月のそれより斷然多くなつているのである

所判事審家

氏變更が

首位

性質上時間がかかり一日遲く四五件

こゝも來春早々から從來の家庭裁判所に更に少年審判所を併置して新たに『家庭裁判所』となつて發足するため年内受理のものは年内に處理する方針でかゝつている模様であるが係官の手不足に加え待ちこまれる事件の性質上時間がかゝつて一四、五件が巻どころかテンテコ舞をしなやつとと言う有様のため二十三日以降二十八日までの分約二十件、來春へ持越し分三十數件となつている、受理種類別にみてみると今月中二十二日までの分四十七件

于の氏變更十七、養子緣組十三、相續放棄十、他七件となつている

殘業〳〵でテンテコ舞

以上をとにかく裁判所側證村裁判長以下判事四名、事務官十名、雇五名計十九名に檢察廳側檢事二名事務官七名雇二名計十一名で處理し各事件毎に尤大な書類を作成せねばならぬためここ御用納までは殘業者續出で、全員ネヂリ鉢巻どころかテンテコ舞をしなければならない有様

筆頭は何と食管法違反

去る十二月三日まで札幌刑務所で他を壓して第一位の罪名別受理件數より見る時は食糧管理法違反六十四件、窃盜十六件、道路交通法違反等二十三件合計百十二件に遡し迫る十三年の瀬と共に食管法違反が

前月より斷然多い

簡易裁判所

小物ながら數で他を壓するのが簡裁で今月二十三日までの公判に附した分を十一月中のそれと比較してみると（カッコ内十一月分）

刑事四十件（四十二）調停二十件（六）民事十三件（十三）合計七十四件（六十一件）となつており二十四日以降二十八日までの公判像定分八件を加えずとも師走に入つてからの公判確定分は十一月のそれより斷然多くなつているのである

殘業〳〵でテンテコ舞

日本一のブラザー　ミシン

シンガー・蛇の目・ジューキ・其他

平市武丁目（大通り）

石川ミシン商會

放射線科

内科

ヤグチ　谷口醫院

平市一丁目橋

カメラ

高價買入

平市三丁目本通

タナカ

電五七六

精神科

内科

電15

平市字

アラタメ　新田目醫院

靴と運動具

謝恩大賣出し

全商品百円以上一分引

期間十二月二十日より

十二月五日まで

平市田町三田小路

大塚

電話七七

土木建築

設計請負

平土地住宅信用會社

社長　正木昌次郎

一◇介紹◇映

姫　館

樂　聚　座

24日　カナリヤ

（オリヴアデ・ヴイランド）はふとした事からベイロット、エデイ（ロバートカミングス）と知り合う、やがて彼女を文無しと思つたエデイは來襲するが案狀を知つて驚く、しかし伯父の許しもあつたので婚約することとなつたが伯父の條件中にアメリカ市民權を放棄すると言う條項がありこれを承服し兼ねたエデイは婚約を解消する、が是を悲しむ姫のため秘かに伯父を發で眠らせその間に二人は最高裁判所判事と大統領にたのんで無事結婚するたいないストーリーながらアメリカデモクラシーの良さを充分に示し且アメリカ人の誇りを强調した點に富む喜劇映畫、監督ノーマンクラスナはこの脚本によつて一九四三年度アカデミー賞を得ている、ウオナーブラザース作品

放

去る九日夕刻頃内郷町綴字沼尻地内の堤防上にねていた浮浪者を内郷署員が引致取調べた處、この男生れは岩手縣岩手郡中館村だが目下住所不定無職で田村宗助（五三）と言う者、去る十一月十七日午前二時頃盛岡驛待合室で見知らぬをどこの赤革カバンを失敬、入つていた現金五千七百円ほか衣類等計一万二千円ほどを窃取したことが明かとなり仝署よりこの程送檢、目下内郷署で取調べ中だが前科を調べると驚くなかれ窃盜八犯、放火、詐欺文書變造行使、恐喝等合計十二犯と言うツワ者

◇初犯は大正二年八月十九日年齢十六才の時窃盜で盛岡區裁より懲役五ヶ月を食つたのがそもそ〳〵のことの始り◇次いで大正四年六月一日仝所で窃盜懲役十ヶ月◇仝六年七月六日水戸で詐欺窃盜又計變造行使で二年の刑◇仝じく六年八月二十七日懲兵令違反で罰金五円なりで（水戸）◇大正九年十月窃盜四年の懲役（盛岡）◇大正十四年七月放火で懲役十年（盛岡）◇昭和十年九月窃盜で一年（盛岡）◇昭和十年十月窃盜一年六ヶ月（花巻）◇十三年五月宇都宮で窃盜一年◇十四年六月盛岡で窃盜懲役三年

◇昭和十八年一月窃盜で懲役一年（盛岡）

となつており去る十一月十二日札幌刑務所からラストの六年の刑を無事終えて一所、再び『前科第十二犯目』を犯して仅正月を目前に何年かの刑に服することとなつた譯、十六の年から約三十七年間、生れ落ちてから今日までの三分の一を刑務所にすごしたことになる、正に刑務所こそ『楽しき我が家』か―

中入買高割五對絶　和洋服

ますます致融金時一

平市通り大町

鈴木商會

衣料品
化粧品
履物
陶器
食料品
小鳥と附屬一般
ビクター　ラジオ
電氣器具

お買物は皆様の

三平　三井百貨店　電話284

服洋人入
モノキ買

氣輕に御相談ください
きつと御滿足の上値で……

福屋

平驛前ガネロガシ通り

炭鑛及一般工業用ゴム
總ゴム靴、醫療用ゴム

岡本ゴム工業株式會社

福島工場

石城郡赤井村小川郷驛前

本社工場　東京都江戸川區平井四ノ二七〇一
葛飾工場　東京都葛飾區本田川端町二六

◇開店お知らせ◇

三陸海産物直賣

海産食料品なら何んでも取揃えてあります

◎正月用品は是非當店へ

かわばた商店

江尻　喬

湯本町湯本座通り電二三四番

近代的スタヂオ完成

出張撮影も致します何卒お引立て下さい

開業

御見合
御婚禮

一般寫眞

内郷寫眞館

内郷町つばら通り

小兒マヒ治療

赤外光線　早川治療所

石城郡大浦村七折田

四倉驛下車十五分（電四倉一二一番）